

114 合計特殊出生率の推移

年 次	全 国	東 京 都	特 別 区 部	品 川 区
平成 13 2001	1.33	1.01	0.97	0.88
14 2002	1.32	1.02	0.98	0.86
15 2003	1.29	1.00	0.96	0.85
16 2004	1.29	1.01	0.96	0.88
17 2005	0.87

- 注) 1. 「合計特殊出生率」とは、15歳から49歳(再生産年齢という)までの女子の年齢別出生率を合計したもので、再生産年齢を終えるまでに、1人あたり何人の子供を生むかを示す。
2. 東京都の「合計特殊出生率」は、東京都福祉保健局が翌年1月1日の住民基本台帳(東京都総務局統計部公表)の女子各歳別人口をもとに算出したものである。全国の合計特殊出生率は、厚生労働省が、国勢調査の日本人人口(国勢調査年)もしくは総務省統計局推計の各年10月1日現在の日本人人口(国勢調査年以外)をもとに算出したものである。
3. 平成17[2005]年・品川区の数値は、東京都と同様の方法でもとめた「速報値」である。

資料: 東京都福祉保健局総務部企画課『東京都衛生年報』、区民生活事業部区民課統計係